

ADPY

Table of Contents

マニュアル作成、管理をもっとラクに	1
GitHubとMarkdown/Asciidocでのマニュアル作成のメリット	1
コストダウンと拡張性	2
システム導入 50%コストダウン	2
拡張性	2
スムーズなコミュニケーション	4
関係者との連携が円滑に	4
エンジニアに親和性のある記述形態	4
マルチデバイス・マルチリンガル	6
マルチデバイス対応	6
Trados、Memsourceと連携	6

マニュアル作成、管理をもっとラクに

Word、FrameMaker、InDesignなどでのマニュアルや技術資料の作成に限界を感じてはいませんか？
そのようなお客様向けに、GitHub等のオープンソースを活用したマニュアル作成環境の構築を提供しています。



- **GitHub（ギットハブ）とは**
ソフトウェア開発に使われるソースコード管理ツールです。ソースコード管理だけではなく、仕様書などのドキュメント管理・共有ツールとしても活用されています。マニュアル作成においては、変更履歴記録、複数ユーザーによる同時作業などが可能です。5ユーザー 25ドル/月から使用できます。
- **AsciiDoc（アスキードック）とは**
Markdownなどのような軽量マークアップ言語の一つです。テキストエディタで記述しHTML、PDF、電子書籍、など種々の形式に変換することが可能です。

GitHubとMarkdown/Asciidocでのマニュアル作成のメリット

1. システム導入 50%コストダウン

GitHubとMarkdown/Asciidocでのマニュアル作成は、オープンソースソフトウェアを活用するため、作成環境のインシャルコストを抑えることができます。

2. 拡張性

欲しい機能に対応したオープンソースソフトウェアを選択することで、パッケージ製品と比べて自社作成フローに合わせて柔軟に拡張できます。

3. 関係者との連携が円滑に

GitHubのプルリクエスト機能を使うことで、レビュー依頼やフィードバック、対象ドキュメントを一括で連絡できるため、コミュニケーションを円滑に行えます。

4. エンジニアに親和性のある記述形態

エンジニアに馴染みのある記述形態（軽量マークアップ言語）を採用することで、原稿作成をストレスなくできます。

5. マルチデバイス対応

本ソリューションでは、ひとつのソースファイルからPDFやHTMLを出力できるレスポンシブデザインに対応しています。

6. Trados、Memsourceと連携

翻訳ツールのスタンダードであるTrados、Memsourceと連携し、日本語マニュアルから翻訳までワンストップGitHub上でワンストップのプロジェクト管理が可能です。

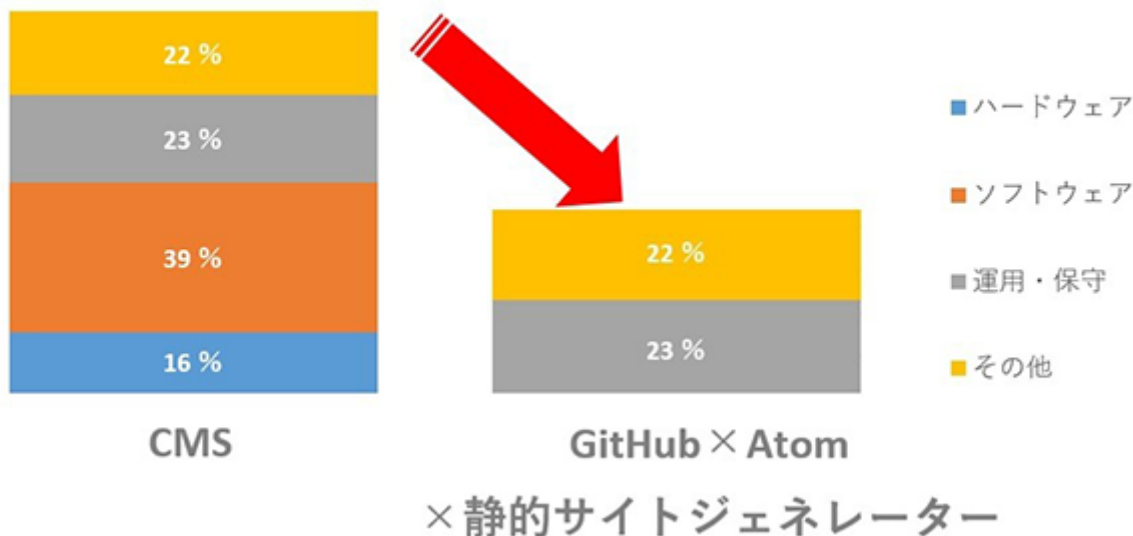
コストダウンと拡張性

システム導入 50%コストダウン

マニュアル作成・管理のためにCMSを導入する場合、通常1000万以上の費用が必要となります。多くの企業にとって、システム導入費用は大きな負担としてのしかかります。

GitHubとMarkdown/Asciidocでのマニュアル作成は、オープンソースソフトウェアを活用するため、作成環境のインシャルコストを抑えることができます。

50%の導入コストダウン



「システム導入時に高額な予算を準備できない。」

「スモールスタートで試したい。」

「ハードウェアやソフトウェアの年間ライセンス費用などの維持費を押さえない」

このようなお客様にぜひお試しいただきたいサービスです。

- Atom（アトム）とは
GitHubが開発したオープンソースのテキストエディターです。
- 静的サイトジェネレーターとは
Markdownなどで書かれたファイルをもとに、効率よくHTML/CSSを生成するためのツールです。

拡張性

欲しい機能に対応したオープンソースソフトウェアを選択することで、パッケージ製品と比べて自社作成フローに合わせて柔軟に拡張できます。

どのようなツールの組み合わせが最適かは、ご要件に応じてヒューマンサイエンスがサポートいたします。

例えば、GitHub社が提供しているオープンソースエディタであるAtomには、多様なプラグインが提供されています。自社の作成フローに合わせて、欲しい機能を組み合わせることで使いやすい環境を構築できます。



その他の例

- Sourcetree (Gitをコマンドラインではなく、GUIで操作できる無料ツール)
- Redpen (文章校正ツール)
- textlint (文章校正ツール)

スムーズなコミュニケーション

関係者との連携が円滑に

マニュアルの作成体制は会社によって異なります。

1. エンジニアが業務の一環としてマニュアルを作成する
2. エンジニアから情報を得て、ユーザーサポート部が作成する
3. エンジニアから情報を得て、マニュアル専門部署が作成を行う

いずれの場合も、部署間・部署内でのコミュニケーションが重要になります。

製品が発売、納品されるまでは、幾度の仕様変更が発生します。また、リリース後も、バージョンアップなどによるマニュアルの改定が行われおり、マニュアルデータの版数・変更履歴の負荷が高いものでした。

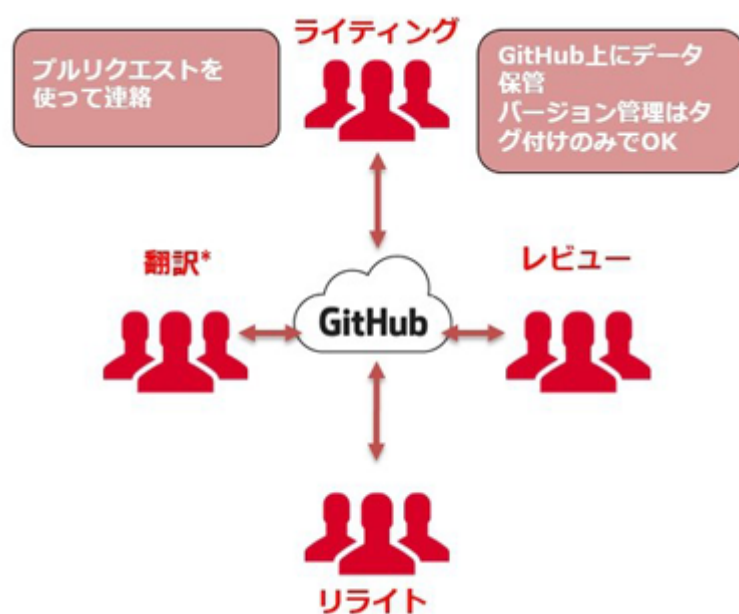
「エンジニアからの情報のとりまとめが大変」

「マニュアルやドキュメントのデータ共有が煩雑で、データの管理に手間がかかる。」

「修正の履歴管理が煩雑になりがち」

GitHubを活用することで、ファイルの世代管理や修正履歴の管理が容易です。

いつ、誰が、どのような修正をしたかなど細かい履歴も確認することが可能になります。



GitHubのプルリクエスト機能を使うことで、レビュー依頼やフィードバック、対象ドキュメントを一括で連絡できるため、コミュニケーションを円滑に行えます。

GitHubのリポジトリ上でデータ資産を共有できるため、権限保有者間でデータを共有できます。

閲覧・編集権限などのユーザー権限が設定できます。

エンジニアに親和性のある記述形態

Markdown、AsciiDoc、reStructuredTextといったエンジニアに馴染みのある記述形態（軽量マークアップ言語）を採用することで、原稿作成をストレスなくできます。

開発現場ではWord、Excel、PowerPointと並び、「軽量マークアップ言語」が利用されているケースが

開発現場で使われているテキスト形式には以下のようなものがあります。

AsciiDoc

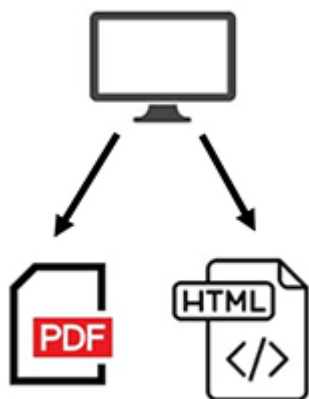
	asciidoctor cheat sheet	
Answer	Images Videos	
Asciidoctor	A text document format for writing notes and structured documents	
Headers	Emphasis	Lists
h1 Section Title	__text__	1. Item1
Display the text in bold	Display the text in bold	First ordered list item
H2 Heading	*text*	2. Item2
H2 can also be created by putting two or more dashes under Heading	Display the text in bold	Second ordered list item
=== Heading	==text==	3. Item3
H3 can also be created by putting four or more tildes under Heading	Display the text in bold and italics	Ordered list item
==== Heading	[[text through]]	.. Item
H4 can also be created by putting five or more tildes under Heading	Add smooth-rough effect to the text	Unordered list item
===== Heading	[[text through]]text	.. Item
H5 can also be created by putting five or more equals under Heading	Add smooth-rough effect to the text and bold it	Unordered list item
===== Heading	!text!	.. Item
H6 can also be created by putting five or more exclamation marks under Heading	Links	Unordered list item
Code and Syntax Highlighting	https://asciidoctor.org/link/text/	Images
[source,src]	http://a/b/c	image:https://github.com/mjg/pageloops/12345
---	[format=html]	image:style
!!! "connects" " ".both-remains	Create an anchor for a block	image:https://path.to/img.png?tag=1234567
---	image=123 anchor=hello	

5

マルチデバイス・マルチリンガル

マルチデバイス対応

従来は、PDFマニュアルとHTMLマニュアルのソースファイルを2元管理する必要がありました。本ソリューションでは、ひとつのソースファイルから**PDF**とレスポンシブデザインに対応した**HTML**の両方を出力できます。



AtomでAsciiDocドキュメントを編集



変換ツールでHTMLに変換

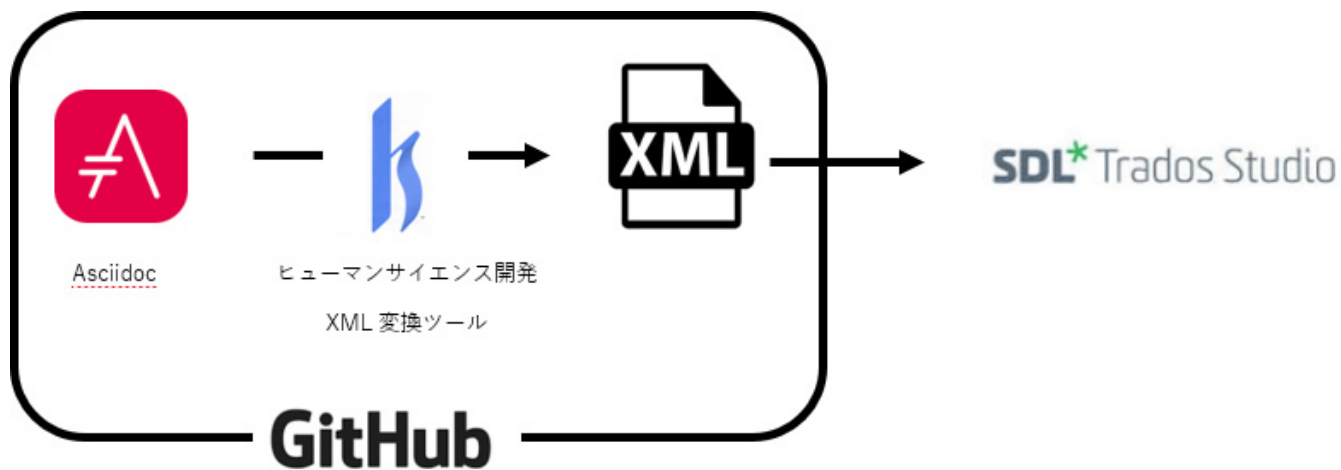
一つのマニュアルデータを作れば、そこからPDFにもHTMLにも出力できます。PDFとHTML作成を個別に行う必要がないのでコストを圧縮できます。

昨今、ウェブ発信が当たり前になってきている時代のため、多様な業種でマニュアルのHTML化が進んでいます。

同時にタブレットやスマートフォンの普及により、マルチデバイスへの対応が求められています。カスタマイズすることで、レスポンシブデザインに対応したHTMLに出力できます。

Trados、Memsourceと連携

翻訳ツールのスタンダードであるTrados、Memsourceと連携し、GitHub上で日本語マニュアルの作成から翻訳までの全工程をワンストップで管理できます。



Markdown形式は、Memsourceに対応しています。